

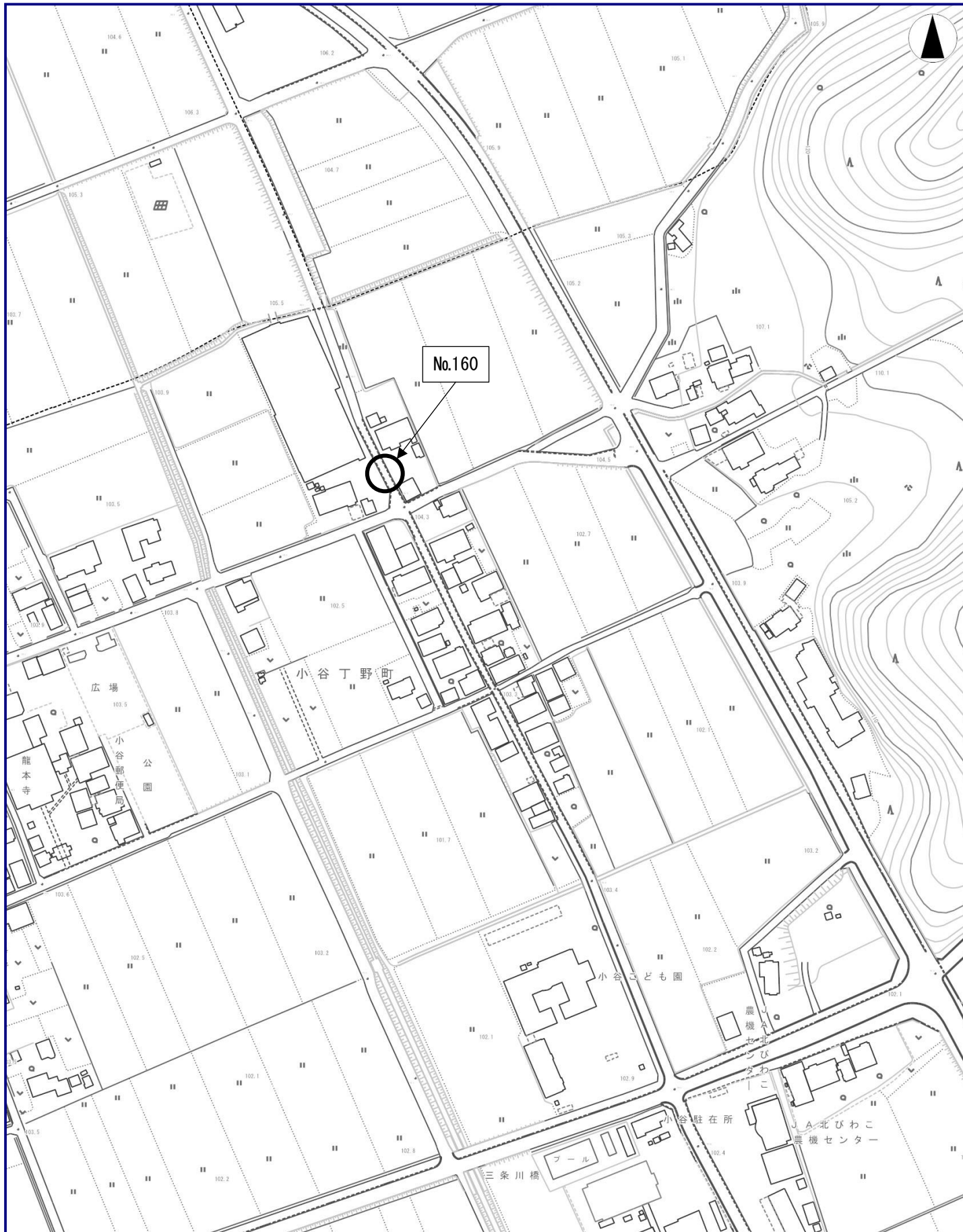
1/2500

0 100m



1/2500

0 100m



1/2500

0 100m



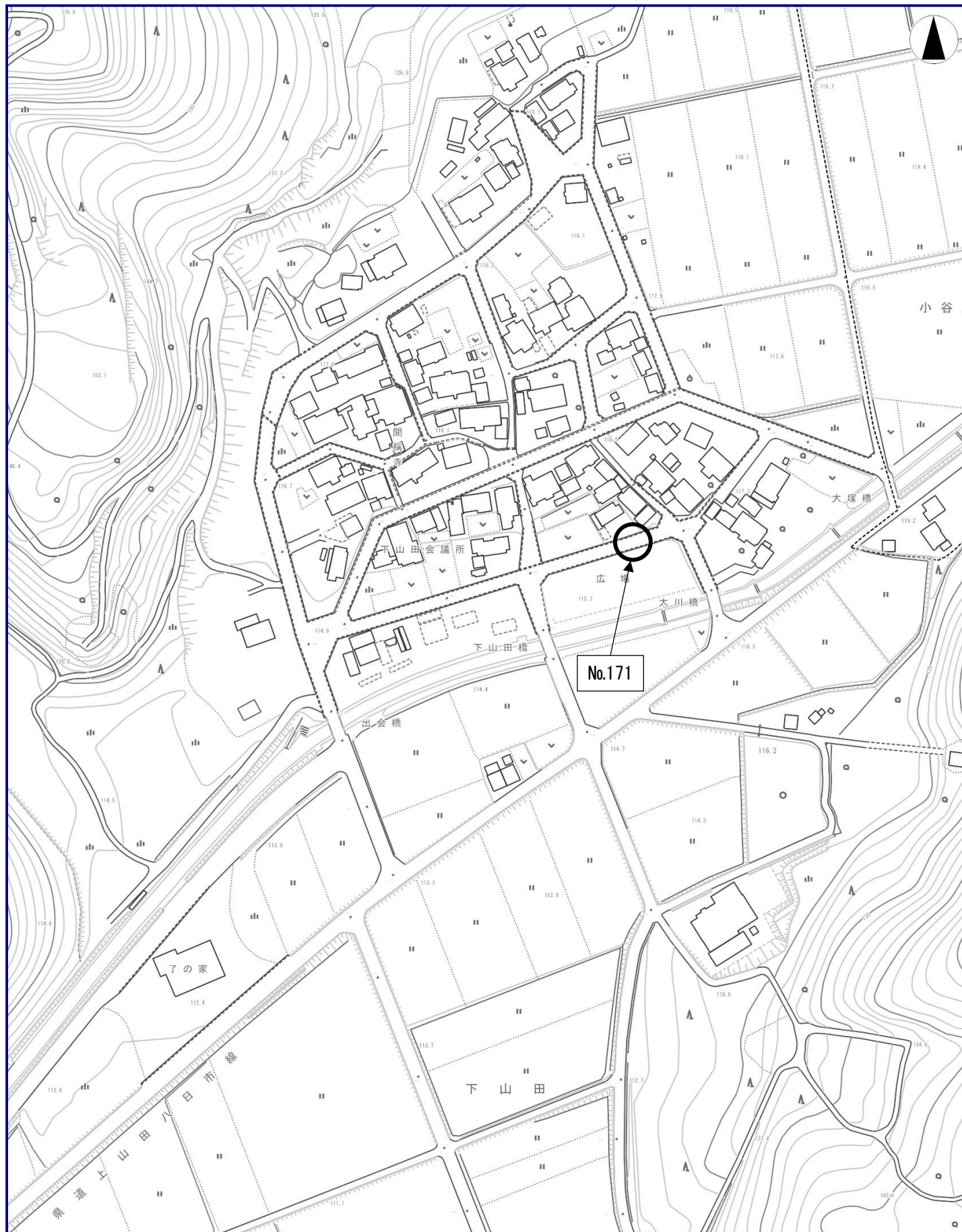
1/2500

0 100m

No.171

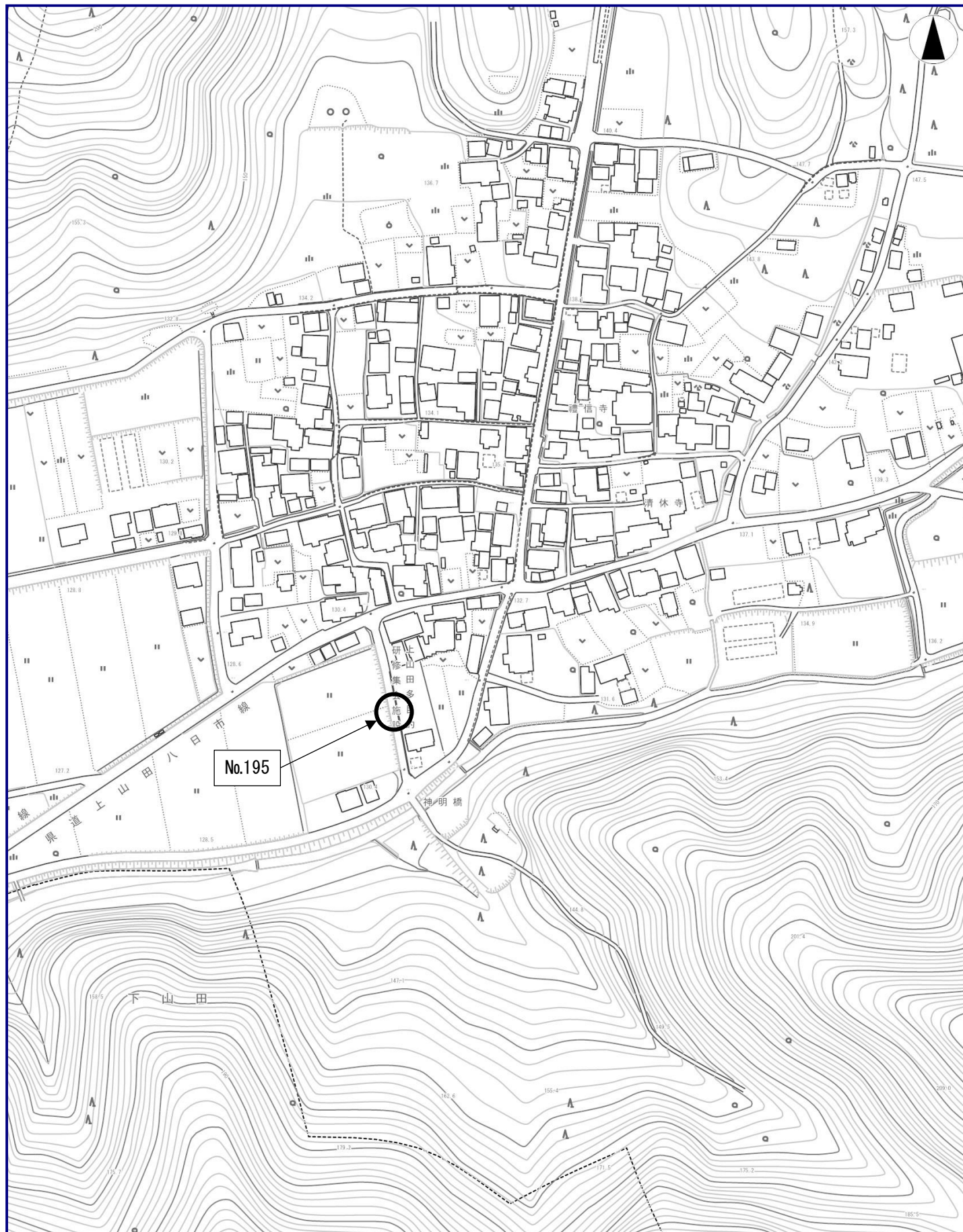
下山田

集排



1/2500

0 100m



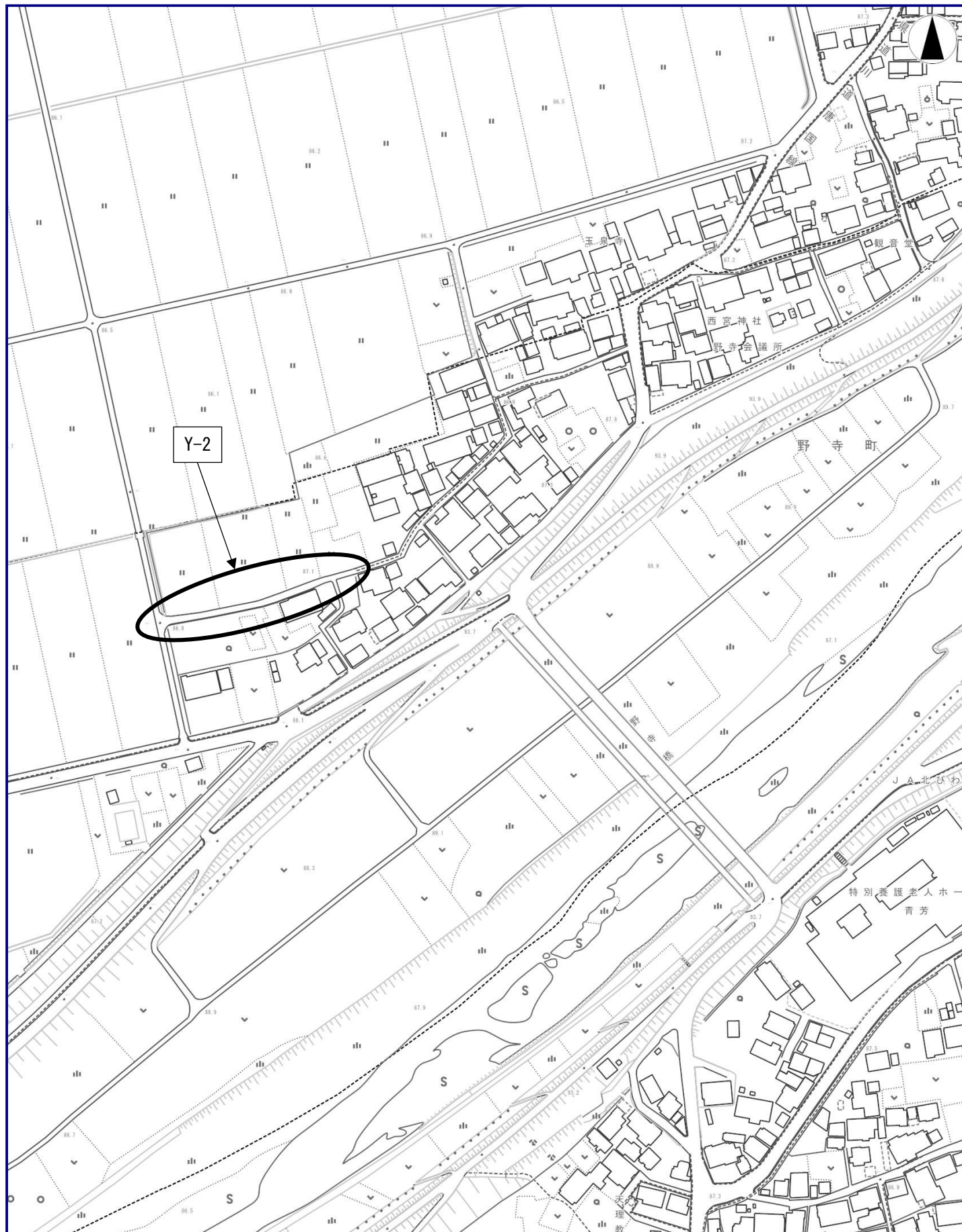
1/2500

0 100m



1/2500

0 100m



1/2500

0 100m

裏面にも御記入ください

様式2 再生資源利用促進計画書 ー建設副産物搬出工事用ー

※網掛け部分は必ず記入してください。その他の部分については、可能な限り記入してください。

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事に於いて、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。
複数年度にまたがる工事については、年度毎に作成して下さい。

裏面

2. 建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第3位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について												再生資源利用促進率	
		現場内利用		減量化		搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上に わたる時は、用紙を覚えて下さい。	区分 どちらかに○を 付けて下さい	施工条件の 内容 コード*12	搬出先場所住所	住所コード *4	距離 *5	搬出先 の種類 コード *13	④現場外搬出量		⑤再生資源 利用促進率 ②÷③×⑤ (%)	②+③+⑤ (%)			
		用途 コード *10	②利用量 小数点第3位まで	うち現場内 改良分 小数点第3位まで	③減量化量 小数点第3位まで								④再生資源 利用促進率 ②÷③×⑤ (%)						
特定建設副産物	コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	トン トン	トン トン	トン トン	9% 9%			
	建設発生木材A (※、ボーラなど本質的に がれき物と見なされるもの)	トン	トン	トン		搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	トン トン	トン トン	トン トン	9% 9%			
	アスファルト・ コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	トン トン	トン トン	トン トン	9% 9%			
	その他がれき類	トン				搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	トン トン		トン トン	9% 9%			
	建設発生木材B (※※、粉砕材などが電 気物と見なされるもの)	トン	トン	トン		搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	トン トン		トン トン	9% 9%			
	建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	トン トン	トン トン	トン トン	9% 9%			
	金属くず	トン				搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	トン トン		トン トン	9% 9%			
	環境化ビニル 管・継手	トン				搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	トン トン		トン トン	9% 9%			
	床プラスチック (環境化ビニル管・継 手を除く)	トン				搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	トン トン		トン トン	9% 9%			
	炭石膏ボード	トン				搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	トン トン		トン トン	9% 9%			
建設副産物	紙くず	トン				搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	トン トン		トン トン	9% 9%			
	7入ベスト (飛散性)	トン				搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	トン トン		トン トン	9% 9%			
	その他の分別さ れた廃棄物	トン				搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	トン トン		トン トン	9% 9%			
	その他の分別さ れた廃棄物	トン				搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	トン トン		トン トン	9% 9%			
	第一種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	9% 9%			
	第二種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	9% 9%			
	第三種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	9% 9%			
	第四種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	9% 9%			
	浸漬土以外 の泥土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	9% 9%			
	浸漬土 (建設汚泥を除く)	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間					km km	地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	9% 9%			
合 計	地山m ³	地山m ³	地山m ³									地山m ³	地山m ³	地山m ³	9%				

注記
ー一般廃棄物は記入しないでください。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないでください。

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
建設発生土の場合
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再処理施設)
6.中間処理施設(サマライサイクル)
7.中間処理施設(単焼純却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

建設発生土の場合
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再処理施設)
6.中間処理施設(サマライサイクル)
7.中間処理施設(単焼純却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)
10.土捨て・残土処分場

※6、9、10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

様式3 再生資源利用実施書 ー建設資材搬入工事用ー

※網掛け部分は必ず記入してください。その他の部分については、可能な限り記入してください。

1.工事概要

発注機関名

発注機関コード*1

発注担当者チェック欄

担当者

TEL

()

請負会社名

請負会社コード*2

代表取締役

代表取締役

TEL

FAX

()

()

記入年月日

R. 年 月 日

工事責任者

調査票記入者

工事名

工事種別コード*3

請負金額

千 百 十 千 百 十
億 億 億 億 万 万 万 万 1万円未満四捨五入
0.000 円 (税込み)

左記金額のうち
特定建設資材搬入物の再生資源化等に要した費
千 百 十 千 百 十
億 億 億 億 万 万 万 万 1万円未満四捨五入
0.000 円 (税込み)

特定建設資材搬入物の再生資源化等に要した費
千 百 十 千 百 十
億 億 億 億 万 万 万 万 1万円未満四捨五入
0.000 円 (税込み)

工事施工場所

都 道 市 区 町 村

住所コード*4

工 期

令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

再資源化等の完了年月日

令和 年 月 日

工事概要等

施工条件の内容
(再生資源の利用に関する特記事項等)

建築・解体工事のみ
右欄に記入して下さい

建築面積

延床面積

階 数

地上 階

地下 階

構造
(数字に○をつける)

1.鉄骨鉄筋コンクリート造 2.鉄筋コンクリート造 3.鉄骨造 4.コンクリートブロック造 5.木造 6.その他

用途
(数字に○をつける)

1.居住専用 2.居住兼業併用 3.事務所 4.店舗 5.工場・作業所 6.倉庫 7.学校 8.病院診療所 9.その他

2.建設資材利用実施

注:コード*5~9は下記欄外のコード表より数字を選んでください。

建設資材 (新材を含む全体の利用状況)				左記のうち、再生資材の利用状況				(再生資材を利用した場合に記入してください)				再生資源
分類	小分類	規格	主な利用用途	利用量(A)	再生資源の名称	再生資材利用量(B)	再生資源の供給元施設、工事等の名称	供給元種類	施工条件	再生資材の供給元場所住所	住所コード	利用率
コード*5	コード*6	コード*7	コード*8	小数点第三位まで	コード*9	小数点第三位まで	コード*10	コード*11	コード*12	コード*13	コード*14	B/A×100
特定建設資材	コンクリート			トン	トン	トン						%
				トン	トン	トン						%
	合計			トン	トン	トン						%
	コンクリート及び鉄筋から成る建設資材			トン	トン	トン						%
				トン	トン	トン						%
	合計			トン	トン	トン						%
	木材			トン	トン	トン						%
				トン	トン	トン						%
	合計			トン	トン	トン						%
	アスファルト・コンクリート			トン	トン	トン						%
その他の建設資材	土砂			締めm ³	締めm ³	締めm ³						%
				締めm ³	締めm ³	締めm ³						%
	合計			締めm ³	締めm ³	締めm ³						%
	砕石			m ³	m ³	m ³						%
				m ³	m ³	m ³						%
	合計			m ³	m ³	m ³						%
	強化コンクリート・鉄骨			トン	トン	トン						%
				トン	トン	トン						%
	合計			トン	トン	トン						%
	石膏ボード			トン	トン	トン						%
その他の建設資材	その他の建設資材			トン	トン	トン						%
				トン	トン	トン						%
	合計			トン	トン	トン						%
	その他の建設資材			トン	トン	トン						%
				トン	トン	トン						%
	合計			トン	トン	トン						%
	その他の建設資材			トン	トン	トン						%
				トン	トン	トン						%
	合計			トン	トン	トン						%
	その他の建設資材			トン	トン	トン						%

- コード*5
コンクリートについて
- 1.生コン
 - 2.再生生コン(Co再生資材M)
 - 3.再生生コン(Co再生資材L)
 - 4.再生生コン(Co再生資材H)
 - 5.再生生コン(Co再生資材)
 - 6.再生生コン(Co再生資材)
 - 7.再生生コン(Co再生資材)
 - 8.再生生コン(Co再生資材)
 - 9.再生生コン(Co再生資材)
 - 10.その他
- コンクリート及び鉄筋から成る建設資材について
- 1.有筋コンクリート二次製品(リユース品)
 - 2.有筋コンクリート二次製品(リユース品)
 - 3.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生資材)
 - 4.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生資材)
 - 5.その他
- 木材について
- 1.木材(ボード類を除く)
 - 2.木質ボード
 - 3.木質ボード
 - 4.木質ボード
 - 5.木質ボード
 - 6.木質ボード
 - 7.木質ボード
 - 8.木質ボード
 - 9.木質ボード
 - 10.木質ボード
- アスファルト混合物について
- 1.熱硬化型アスコン
 - 2.冷硬化型アスコン
 - 3.熱硬化型アスコン
 - 4.冷硬化型アスコン
 - 5.改質アスコン
 - 6.改質アスコン
 - 7.改質アスコン
 - 8.改質アスコン
 - 9.改質アスコン
 - 10.改質アスコン
- 土砂について
- 1.第一種建設発生土
 - 2.第二種建設発生土
 - 3.第三種建設発生土
 - 4.第四種建設発生土
 - 5.浚渫土以外の泥土
 - 6.浚渫土
 - 7.土質改良土
 - 8.建設汚泥処理土
 - 9.再生コンクリート砂
 - 10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)
- 砕石について
- 1.クラッシャーラン
 - 2.粒径調整砕石
 - 3.鉋さい
 - 4.単粒度砕石
 - 5.くろ石、新くろ石、自然石
 - 6.その他
 - 7.その他
 - 8.その他
 - 9.その他
 - 10.その他
- 強化コンクリート管・継手について
- 1.硬質強化コンクリート管
 - 2.その他
 - 3.その他
 - 4.その他
 - 5.その他
 - 6.その他
 - 7.その他
 - 8.その他
 - 9.その他
 - 10.その他
- 石膏ボードについて
- 1.石膏ボード
 - 2.シージング石膏ボード
 - 3.強化石膏ボード
 - 4.石膏ボード
 - 5.石膏ボード
 - 6.石膏ボード
 - 7.石膏ボード
 - 8.石膏ボード
 - 9.石膏ボード
 - 10.石膏ボード
- その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入してください)

- コード*6
アスファルト混合物について
- 1.熱硬化型アスコン
 - 2.冷硬化型アスコン
 - 3.熱硬化型アスコン
 - 4.冷硬化型アスコン
 - 5.改質アスコン
 - 6.改質アスコン
 - 7.改質アスコン
 - 8.改質アスコン
 - 9.改質アスコン
 - 10.改質アスコン
- 土砂について
- 1.第一種建設発生土
 - 2.第二種建設発生土
 - 3.第三種建設発生土
 - 4.第四種建設発生土
 - 5.浚渫土以外の泥土
 - 6.浚渫土
 - 7.土質改良土
 - 8.建設汚泥処理土
 - 9.再生コンクリート砂
 - 10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)
- 砕石について
- 1.クラッシャーラン
 - 2.粒径調整砕石
 - 3.鉋さい
 - 4.単粒度砕石
 - 5.くろ石、新くろ石、自然石
 - 6.その他
 - 7.その他
 - 8.その他
 - 9.その他
 - 10.その他
- 強化コンクリート管・継手について
- 1.硬質強化コンクリート管
 - 2.その他
 - 3.その他
 - 4.その他
 - 5.その他
 - 6.その他
 - 7.その他
 - 8.その他
 - 9.その他
 - 10.その他
- 石膏ボードについて
- 1.石膏ボード
 - 2.シージング石膏ボード
 - 3.強化石膏ボード
 - 4.石膏ボード
 - 5.石膏ボード
 - 6.石膏ボード
 - 7.石膏ボード
 - 8.石膏ボード
 - 9.石膏ボード
 - 10.石膏ボード
- その他の建設資材について
(利用用途を具体的に記入してください)

- コード*7
コンクリートについて
- 1.生コン
 - 2.再生生コン(Co再生資材M)
 - 3.再生生コン(Co再生資材L)
 - 4.再生生コン(Co再生資材H)
 - 5.再生生コン(Co再生資材)
 - 6.再生生コン(Co再生資材)
 - 7.再生生コン(Co再生資材)
 - 8.再生生コン(Co再生資材)
 - 9.再生生コン(Co再生資材)
 - 10.再生生コン(Co再生資材)
- コンクリート及び鉄筋から成る建設資材について
- 1.有筋コンクリート二次製品(リユース品)
 - 2.有筋コンクリート二次製品(リユース品)
 - 3.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生資材)
 - 4.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生資材)
 - 5.その他
- 木材について
- 1.木材(ボード類を除く)
 - 2.木質ボード
 - 3.木質ボード
 - 4.木質ボード
 - 5.木質ボード
 - 6.木質ボード
 - 7.木質ボード
 - 8.木質ボード
 - 9.木質ボード
 - 10.木質ボード
- アスファルト混合物について
- 1.熱硬化型アスコン
 - 2.冷硬化型アスコン
 - 3.熱硬化型アスコン
 - 4.冷硬化型アスコン
 - 5.改質アスコン
 - 6.改質アスコン
 - 7.改質アスコン
 - 8.改質アスコン
 - 9.改質アスコン
 - 10.改質アスコン
- 土砂について
- 1.第一種建設発生土
 - 2.第二種建設発生土
 - 3.第三種建設発生土
 - 4.第四種建設発生土
 - 5.浚渫土以外の泥土
 - 6.浚渫土
 - 7.土質改良土
 - 8.建設汚泥処理土
 - 9.再生コンクリート砂
 - 10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)
- 砕石について
- 1.クラッシャーラン
 - 2.粒径調整砕石
 - 3.鉋さい
 - 4.単粒度砕石
 - 5.くろ石、新くろ石、自然石
 - 6.その他
 - 7.その他
 - 8.その他
 - 9.その他
 - 10.その他
- 強化コンクリート管・継手について
- 1.硬質強化コンクリート管
 - 2.その他
 - 3.その他
 - 4.その他
 - 5.その他
 - 6.その他
 - 7.その他
 - 8.その他
 - 9.その他
 - 10.その他
- 石膏ボードについて
- 1.石膏ボード
 - 2.シージング石膏ボード
 - 3.強化石膏ボード
 - 4.石膏ボード
 - 5.石膏ボード
 - 6.石膏ボード
 - 7.石膏ボード
 - 8.石膏ボード
 - 9.石膏ボード
 - 10.石膏ボード
- その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入してください)

- コード*8
再生資材の供給元について
- 1.現場内利用
 - 2.他の工事現場(内陸)
 - 3.他の工事現場(海岸)
 - 4.他資源化施設
 - 5.土砂ストックヤード
 - 6.その他
- コード*9
施工条件について
- 1.再生材の利用の指示あり
 - 2.再生材の利用の指示なし

裏面にも御記入ください

様式4 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工事用ー

※網掛け部分は必ず記入してください。その他の部分については、可能な限り記入してください。

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。
複数年度にまたがる工事については、年度毎に作成して下さい。

裏面

2. 建設副産物搬出実施

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量			現場外搬出について										再生資源利用促進率	
		用途 コード *10	②利用量 うち現場内 改良分 小数点第三位まで	減量法 コード *11 小数点第三位まで	③減量化量 小数点第三位まで	搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上に わたる時は、用紙を変えて下さい。	区分 どちらかに○を 付けて下さい	施工条件の 内容 コード *12	搬出先場所住所	住所コード *4	道路距離 *11	搬出先の 種類 コード *13	④現場外搬出量 小数点第三位まで	うち現場内 改良分 小数点第三位まで	⑤再生資源 利用促進量 小数点第三位まで	⑥⑦⑧⑨ (%)
特定建設副産物	コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1 公共 民間					1km		トン	トン	トン	9%
	建設発生木材A (柱、梁、土留など大断面材 と建設発生木材Bとの区別)	トン	トン	トン		搬出先2 公共 民間					1km		トン	トン	トン	9%
	アスファルト・ コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1 公共 民間					1km		トン	トン	トン	9%
	その他がれき類	トン	トン	トン		搬出先2 公共 民間					1km		トン	トン	トン	9%
	建設発生木材B (柱、梁、土留など大断面材 と建設発生木材Aとの区別)	トン	トン	トン		搬出先1 公共 民間					1km		トン	トン	トン	9%
	建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先2 公共 民間					1km		トン	トン	トン	9%
	金属くず	トン	トン	トン		搬出先1 公共 民間					1km		トン	トン	トン	9%
	腐食化ビニル 管・継手	トン	トン	トン		搬出先2 公共 民間					1km		トン	トン	トン	9%
	腐プラスチック (腐食化ビニル管・継 手を除く)	トン	トン	トン		搬出先1 公共 民間					1km		トン	トン	トン	9%
	廃石膏ボード	トン	トン	トン		搬出先2 公共 民間					1km		トン	トン	トン	9%
建設副産物	紙くず	トン	トン	トン		搬出先1 公共 民間					1km		トン	トン	トン	9%
	アスベスト (熱酸性)	トン	トン	トン		搬出先2 公共 民間					1km		トン	トン	トン	9%
	その他の分別さ れた廃棄物	トン	トン	トン		搬出先1 公共 民間					1km		トン	トン	トン	9%
	その他の分別さ れた廃棄物	トン	トン	トン		搬出先2 公共 民間					1km		トン	トン	トン	9%
	第一種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1 公共 民間					1km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	9%
	第二種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先2 公共 民間					1km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	9%
	第三種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1 公共 民間					1km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	9%
	第四種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先2 公共 民間					1km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	9%
	深掘土以外の 泥土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1 公共 民間					1km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	9%
	深掘土 (建設汚泥を除く)	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先2 公共 民間					1km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	9%
合 計		地山m ³	地山m ³	地山m ³									地山m ³	地山m ³	地山m ³	9%

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
【建設副産物の場合】
1.売却 2.他の工事現場 3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再処理施設)
6.中間処理施設(サマルリサイクル)
7.中間処理施設(単焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

【建設発生土の場合】
1.売却 2.他の工事現場(内陸) 3.他の工事現場(海面)
4.土質改良プラント 5.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨て・残土処分場

注記
*一般廃棄物は記入しないでください。
*土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないでください。

※6、9、10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

排出ガス対策型建設機械の表示（ラベル）、オフロード法※の表示（ラベル）

※特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成17年法律第51号）

一般工事用機械

「一般工事用機械」の枠内の表示（ラベル）が貼られた建設機械は、土木工事共通仕様書等に規定される排出ガス対策型建設機械として、直轄工事での使用が可能です。

（参考）ナンバーを取得している特殊車両であって、平成15年の排出ガス規制（第2次基準と同等）に適合した特殊車両には、自動車検査証の型式欄に2桁の識別番号（SA-,SB-,SC-,SD-）が記載されています。平成18年以降の排出ガス規制（第3次基準、オフロード法2006基準、2011年、2014基準と同等）に適合した特殊車両には、自動車検査証の型式欄に3桁の識別記号が記載されています。

<http://www.mlit.go.jp/common/001025551.pdf>

一般工事用機械



第1次基準値 表示（ラベル）



第2次基準値 表示（ラベル）



第3次基準値 表示（ラベル）



トンネル工事用機械

「トンネル工事用機械」の枠内の表示（ラベル）が貼られた建設機械は、土木工事共通仕様書等に規定されるトンネル工事用排出ガス対策型建設機械として使用が可能です。

（参考）ナンバーを取得している特殊車両であって、平成23年以降の排出ガス規制（オフロード法2011年、2014基準と同等）に適合した特殊車両（自動車検査証の型式欄に3桁の識別記号があり、最初の記号が「U」、「W」、「X」又は「Y」であるもの。）は上記と同等の排ガス性能を有します。

<http://www.mlit.go.jp/common/001025551.pdf>



オフロード法 2006年基準適合表示（ラベル）、少数特例表示（ラベル）



オフロード法 2011年基準適合表示（ラベル）、少数特例表示（ラベル）



オフロード法 2014年基準適合表示（ラベル）、少数特例表示（ラベル）

トンネル工事用機械

産業廃棄物を収集運搬される方へ

廃棄物処理法施行令・施行規則の改正に伴い、

平成17年4月から

「産業廃棄物収集運搬車に表示および書面備え付け」

が義務付けされます。

一部の悪質な事業者による産業廃棄物の不法投棄が多発する中、運搬車に対する取締りを強化することが大きな課題となっています。そのため、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」が改正され、走行中の運搬車が産業廃棄物を運搬していることを明確にし、また、適正な運搬を行っているかどうかを確認することが出来るように、産業廃棄物の収集運搬車に係る表示及び書面備え付けをすることが、平成17年4月1日から義務付けられることとなりました。

産業廃棄物収集運搬業の許可業者の方はもちろん、自己で運搬される方も、以下のような表示及び書面備え付けが必要となりますので、この新しいルールを守り、産業廃棄物の適正な収集運搬に努めていただきますようお願いいたします。

【産業廃棄物運搬車に必要な表示内容】

運搬車を用いて産業廃棄物の収集及び運搬を行う場合には、以下の事項を車体の両側面に見やすいように表示しておく必要があります。

(許可業者の場合)

- ・産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨
- ・許可業者の氏名又は名称
- ・統一許可番号(下6けた)

(自己運搬の場合)

- ・産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨
- ・事業者の氏名又は名称

(市町村・都道府県の場合)

- ・産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨
- ・市町村又は都道府県の名称

*表示例を裏面に記載していますので、参考にしてください。

【備え付ける書面の内容】

運搬車を用いて産業廃棄物の収集及び運搬を行う場合には、当該運搬車に次の書面を備え付けておく必要があります。

(許可業者の場合)

- ・産業廃棄物収集運搬業の許可証の写し
- ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)(なお、電子マニフェストを使用する場合は、電子マニフェスト加入証の写し及び運搬する産業廃棄物の種類・量等を記載した書面又はこれらの電子情報とその情報を表示できる機器)

(自己運搬の場合)

- ・「氏名又は名称及び住所」、「運搬する産業廃棄物の種類及び量」、「運搬する産業廃棄物の積載日並びに積載した事業場の名称、所在地及び連絡先」、「運搬先の事業場の名称、所在地及び連絡先」を記載した書面

(市町村・都道府県の場合)

- ・事務として行う産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面

産業廃棄物収集運搬車の表示例

表示上の注意点

- ・ 車面の両側面に**鮮明**に表示
- ・ 表示例はマグネット式を想定しています。この内容が含まれていれば表示場所、材質(糊付けステッカー、ポテipayメント)等は特に制限がありません。

5cm
以上

3cm
以上

3cm
以上

1 2 3 4 5 6

株式会社 ○○産業

産業廃棄物収集運搬車

産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨の表記

- ・ 識別しやすい色の文字
- ・ 140ポイント以上の大きさの文字(※)

事業者の氏名又は名称

- ・ 識別しやすい色の文字
- ・ 90ポイント以上の大きさの文字(※)

注「氏名又は名称」は、許可業者は、許可証記載のものを記入する。

*許可業者の場合に必要な統一許可番号(下6けた)

- ・ 識別しやすい色の数字
- ・ 90ポイント以上の大きさの数字(※)

(※) JIS Z 8305で規定されている大きさ

1ポイント=0.3514mm
140ポイント÷4.9cm
90ポイント÷3.2cm

＜その他注意事項＞

①「運搬車」とは、道路運送車両法に規定する自動車で、道路以外においてのみ用いられるものは含まれません。

②表示位置は任意(ドア、荷台側面等)ですが、鮮明かつ見やすいように表示しなければなりません。

③「見やすいように」とは、常識的判断によります。下地や背景色と同系色は好ましくありません。

④特別管理産業廃棄物についても同様の扱いとします。

問合せ先

滋賀県循環社会推進課廃棄物対策室
077-528-3474

南部環境事務所 077-567-5444

甲賀環境事務所 0748-63-6134

東近江環境事務所 0748-22-7758

湖東環境事務所 0749-27-2255

湖北環境事務所 0749-65-6650

湖西環境事務所 0740-22-6066

様式第4号（第十条関係）

低騒音型建設機械の標識



- 備考1. 色彩は地を青色、文字を黄色、
その他の部分を白色とする。
2. 外円の直径は 80mm 以上とする。

様式第6号（第十条関係）

低振動型建設機械の標識



- 備考1. 色彩は地を緑色、文字を黄色、
その他の部分を白色とする。
2. 外円の直径は 80mm 以上とする。

様式第5号（第十条関係）

超低騒音型建設機械の標識



- 備考1. 色彩は地を青色、文字を黄色、
その他の部分を白色とする。
2. 外円の直径は 80mm 以上とする。

再資源化等報告書

令和 年 月 日

(発注者)

様

氏名(法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名)

(郵便番号 ー) 電話番号 ー ー

住所

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第18条第1項の規定により、下記のとおり、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したことを報告します。

記

1. 工事の名称 _____
2. 工事の場所 _____
3. 再資源化等が完了した年月日 令和 年 月 日
4. 再資源化等をした施設の名称及び所在地
(書ききれない場合は別紙に記載)

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地

5. 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用 _____ 万円 (税込み)

(参考資料を添付する場合の資料) ※資源有効利用促進法に定められた一定規模以上の工事の場合など

- ☐ 再生資源利用実施書 (必要事項を記載したもの)
- ☐ 再生資源利用促進実施書 (必要事項を記載したもの)

(注) 本様式は法第18条第1項に規定する特定建設資材廃棄物の再資源化等の完了時に報告を行う場合の標準様式を示したものです。なお、規定により少なくとも3, 4, 5は書面により報告しなければならない。

不 当 介 入〔 不当要求 業務妨害 〕 事 案 通 報 書

滋賀県長浜警察署長 様
長 浜 市 長 様

(通報者) _____

		※ 取扱署等	滋賀県 警察署 課
請 負 者	所在地	(本社)	電話 () - FAX () -
		(現場事務所)	電話 () - FAX () -
	名 称		
	代表者	(現場事務所の代表者)	
	通報者 等	(通報者の職・氏名) 電話 () -	
		(対応者) 所属会社名 電話 () -	
		氏 名	
		役 職	
不当介入の 行為者	住所	電話 () - FAX () -	
	所属		
	役職		
	氏名		
発生日時 ・ 場所	令和 年 月 日 時 分頃		
	〔元請・下請〕(下請の場合は、現場事務所の所在地)	電話 () - FAX () -	
工事件名			
不当介入の 内容・被害 の状況			
警察への 通報の状況		(警察への通報) 有 ・ 無 (通報先警察署) 滋賀県 警察署 課 (通 報 日 時) 令和 年 月 日 時 分頃	

注1 第一報は、この様式に必要な事項を記入したうえ、長浜警察署刑事課あて電話で行った後、その旨を 「警察への通報状況」の欄に記入して発注者及び長浜警察署あて送付（電子メール・FAX可）すること。

2 不当介入の行為者の名刺、提示物等の参考資料がある場合は、その写しを添付すること。

3 下請負先（再委託先）において発生した場合であっても、必ず元請負人（発注者）が聞き取り調査をして記入し、通報すること。

4 ※の欄は、警察署において記入すること。

(下請負人用)

誓 約 書

(あて先)

長浜市長 浅見宣義

住所：_____

商号または名称：_____

代表者 職・氏名：_____ 印

以下に掲げるすべての項目について、事実と相違ないことを誓約します。

記

- 1 次のいずれかに該当する者ではありません。
 - (ア) 役員等（下請負人が個人である場合にはその者を、法人である場合にはその役員をいい、支店・営業所等の場合にはその代表者を含む。以下、「役員等」という。）が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員（以下、「暴力団員」という。）であると認められる者
 - (イ) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下、「暴力団」という。）または暴力団員が経営に実質的に関与していると認められる者
 - (ウ) 役員等が、自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもって、暴力団または暴力団員を利用するなどしたと認められる者
 - (エ) 役員等が、暴力団または暴力団員に対して資金等を供給し、または便宜を供与するなど直接的または積極的に暴力団の維持または運営に協力し、または関与していると認められる者
 - (オ) 役員等が、暴力団または暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる者
- 2 長浜市から役職員名簿の提出を求められた場合には速やかに提出するとともに、本誓約書および役職員名簿を長浜警察署及び木之本警察署に提供することに同意します。
- 3 下請負人等を使用する場合において、長浜市から下請負人等の誓約書および役職員名簿の提出を求められた場合には、速やかに下請負人等から誓約書および役職員名簿を徴し、元請負人を通じて長浜市に提出します。